



UHF ANTENNA

UHF ch.13~52

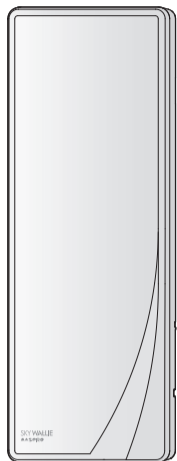
U2SWLA26K



取扱説明書

SKY WALLIE

スカイウォーリー



水平偏波用 強・中・弱電界地域用

75Ω用(F型端子)

付属品

- マスト固定ボルト..... 4本
- マスト固定金具..... 2個
- 防水キャップ..... 1個

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。

JEITA DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有するUHF アンテナ、UHF帯域(ch13~ch52)に対応したブースタに付与されるシンボルマークです。

安全上のご注意 必ずお読みください

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- △記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。
- ⊘記号は、禁止の行為を示しています。
- 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告

- アンテナや付属品を包装しているポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息し、死亡の原因となります。
- アンテナを煙突の近くなど高温になる場所に設置しないでください。火災の原因となります。

- 雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

注意

- 雨降り・強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具を、そのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的な点検してください。

- 高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- アンテナの取付作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
- アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルトなどがゆるんだりしていないか、定期的な点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確認してから、アンテナ・取付金具・マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。
- テレビやレコーダーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやレコーダーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
- アンテナを取付けた状態で、強風時には大きな荷重がかかります。安全性と強度を充分確保できるマストにしっかりと取付けてください。アンテナが落下して、けがの原因となることがあります。
- ボルトの締付部分は、初期ゆるみがありますから、数か月後、再度、締直してください。

- アンテナを高所に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。

使用上のご注意

- アンテナに塗料やワックス、はっ水剤などを塗らないでください。アンテナの故障やアンテナの表面をいためる原因となります。
- アンテナの前面に市販の反射テープなど金属製のラベルを貼付けないでください。アンテナの性能が低下します。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは、アンテナの表面をいためますから、アンテナの掃除などには使用しないでください。

設置上のご注意

- アンテナを上下逆に取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの上下を確認して、正しく取付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。ボルトの変形や破損の原因となります。
- 地上デジタル放送は、直進性が強く、障害物によるレベル減衰が大きくなり受信できなくなるため、送信塔方向の見通しが良い、高い場所を選んでください。
- さらに、アンテナの高さを約2mの範囲で変えることにより、受信状態がより良くなる場合があります。

設置に必要な工具

アンテナの設置には、下記の工具を使用します。
●トルクレンチ ●カッター ●圧着工具 ●ペンチ

各部の名称

前面

上

ご注意

- 前面で地上デジタル放送を受信します。
- この面を送信塔の方向に向けられる場所に設置してください。

↑送信塔の方向

アンテナを上から見た図

下

底面

水抜き孔

ご注意

- 必ず、水抜き孔が下側になるように設置してください。
- 水抜き孔をテープなどでふさがらないでください。内部に水がたまり、故障の原因となります。
- 本製品はアンテナ背面にブースターを取付けることはできません。

背面

上

取付時落下防止用ロープ取付孔

出力端子 (F型端子)

持手 (運搬用)

下

付属品

マスト固定ボルト (4本)

マスト固定金具 (2個)

防水キャップ (1個)

アンテナをマストに設置する

- ご注意**
- アンテナを地面などに置くときは、アンテナの前面に傷が付かないように、シートなどを敷いてください。
 - マスト固定金具を後から取付けてマストに設置することも可能です。その際は必ず2人以上で作業を行なってください。

1. マスト取付金具用ボルトを締付け、マスト固定金具を取付ける
- トルクレンチ(13mm)でマスト取付金具用ボルトを指定のトルクで締付けます。付属のマスト固定金具(2個)を付属のマスト固定ボルト(4本)でアンテナに取付けます。

ご注意

マストに取付ける前に、マスト取付金具用ボルトが指定のトルクで締付けられていることを確認してください。

マスト固定金具 (2個、付属品)

マスト取付金具用ボルト (2本)

- 締付トルク 9N・m (91kgf・cm)

マスト固定ボルト (4本、付属品)

2. マストに取付ける(適合マスト径:φ31.8 ~ 76.3mm)

- ①アンテナをマストに通します。
- ②トルクレンチ(13mm)で、マスト固定ボルト(4本)をアンテナが左右に回転する程度に仮締めします。

ご注意

- マストは垂直になるように建ててください。
- マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。
- 4本のマスト固定ボルトは均等に締付けてください。
- 市販のロープで落下防止対策をしてください。

マスト(別売品)

マスト固定ボルト (4本、付属品)

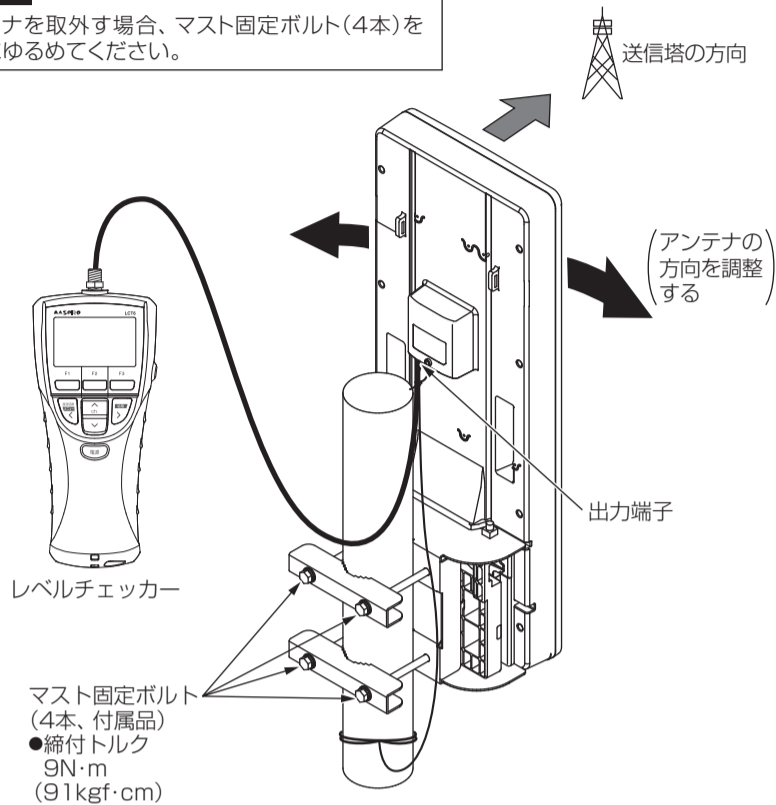
ロープ(市販品)

アンテナの方向を調整する

- レベルチェッカーを接続する
レベルチェッカーをアンテナの出力端子に接続します。
- アンテナの方向調整をする
アンテナを左右に回転させて、レベルと信号品質の値が最良になるようにアンテナの方向を調整します。
- アンテナを固定する
トルクレンチ(13mm)でマスト固定ボルト(4本)を指定のトルクで均等に締付けます。

ご注意

アンテナを取外す場合、マスト固定ボルト(4本)を均等にゆるめてください。



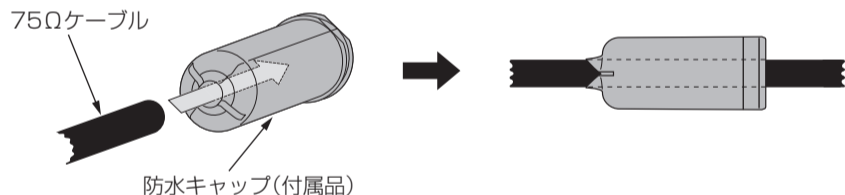
F型コネクタ(C15FP5、C15FP7)の取付方法

ご注意

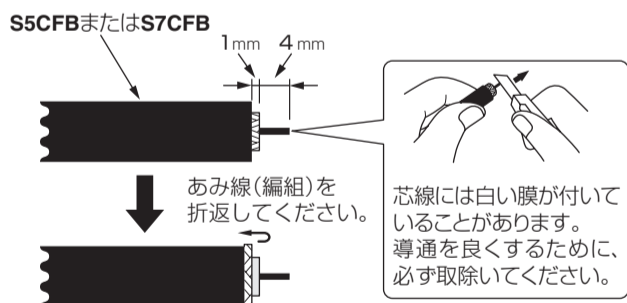
7Cケーブルを使用する場合、必ず別売のコンタクトピン付きF型コネクタ(C15FP7)を使用してください。7Cケーブルを直接接続すると故障の原因となります。

- 接触不良やショートを防ぐため、プラグは正しいに取付けてください。
- 75Ωケーブルを加工する前に、付属の防水キャップに75Ωケーブルを通してください。
- F型コネクタ(C15FP5、C15FP7)は別売です。

- 75Ωケーブルを付属の防水キャップに通します。

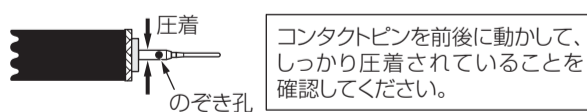


- ケーブルの加工をします。(加工寸法は原寸大です)



- コンタクトピンを取付けます。

- コンタクトピンを芯線にはめてください。
- のぞき孔から芯線が見えることを確認してから、市販の専用圧着工具でコンタクトピンの根元を圧着してください。



コンタクトピンの圧着について

コンタクトピンが、圧着できなかつたり、折れたりしないように、以下の点に注意してください。

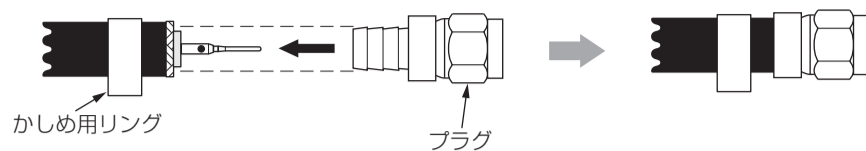
- F型コネクタ専用の圧着工具で圧着してください。
- コンタクトピンの根元の外径に適合する圧着工具のコンタクトピン圧着部で圧着してください。

コンタクトピンの根元の外径
C15FP5: 2mm C15FP7: 2.6mm

F型コネクタ(C15FP5、C15FP7)の取付方法 つづき

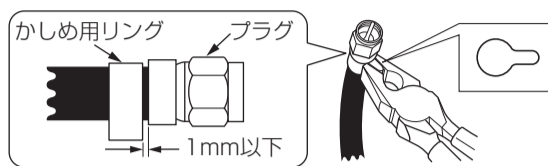
- プラグを取付けます。

75Ωケーブルにかしめ用リングを通して、プラグを強く押し込んでください。



- かしめ用リングをペンチで圧着します。

プラグとかしめ用リングのすき間を1mm以下にして、かしめ用リングをペンチで圧着してください。



アンテナにケーブル(5C・7C)を接続する

ご注意

- 75Ωケーブルには、必ず、付属の防水キャップを通して、出力端子に取付けてください。
- 防水キャップを取付けないと、雨水が浸入してショート状態になり、受信不良の原因となります。
- F型コネクタは、別売のコンタクトピン付F型コネクタ(C15FP5・C15FP7)を使用してください。

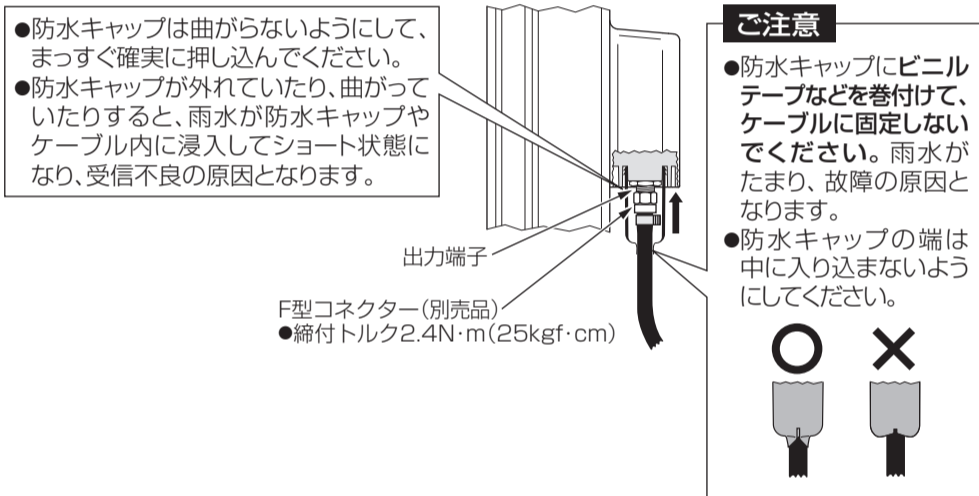
- F型コネクタを接続する

F型コネクタを、アンテナの出力端子へ接続し、使用するコネクタに合ったトルクレンチで締付けます。

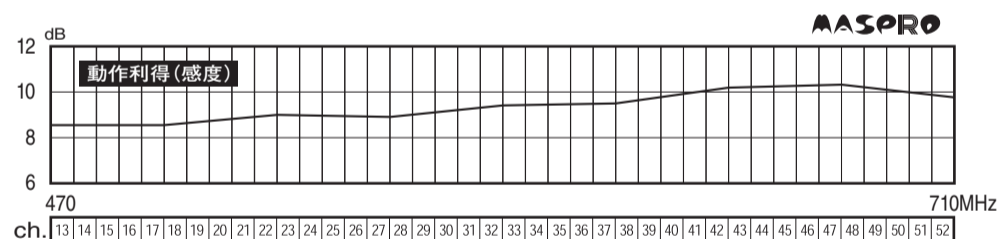
- 防水キャップを取付ける

付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込みます。

- ケーブルは、コネクタや防水キャップに無理な力がかからないように配線してください。
- コネクタ取付け後でも防水キャップにケーブルを通せます。



性能



規格表

項目	規格
受信チャンネル	ch.13 ~ 52
動作利得(感度)	8.4 ~ 10.2dB(実力値)
VSWR	2.5以下
前後比	12 ~ 25dB
半値角度	68 ~ 77°
インピーダンス	75Ω(F型端子)
耐風速	70m/s ※1
使用温度範囲	⊖20 ~ ⊕40℃
適合マスト径	φ31.8 ~ 76.3mm
外観寸法	620(H)※2×240(W)×241(D)mm(φ76.3mmマスト取付時) [アンテナ部: 620(H)※2×240(W)×58(D)※3 mm]
質量(重量)	約3.5kg

- ※1 破壊風速
- ※2 突起部を除く
- ※3 F型端子部、金具固定部を除く

マズロ電気

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談 **0570-091119**

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは **052-805-3366**
受付時間 9~12時、13~17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

- 製品向上のため仕様・外観は変更することがあります。
- この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。